

## 木材利用の持続可能性とは ～炭素の流れとカスケード利用～

東京大学名誉教授 有馬孝禮 氏

近年、地球温暖化に伴う気候変動への対応が大きな課題となり、英国グラスゴーで開催された先般の COP26 においては、気候変動対策に関する様々な議論が交わされました。SDGs への取り組みも各方面で加速するなど、持続可能な脱炭素社会の構築が世界的潮流となっています。

木材利用の促進は、炭素固定を通して気候変動対策に貢献することができます。例えば、現在、当研究会の多くの会員企業が関わる中高層木造建築は、「都市の森林」としての役割を果たすことも期待されています。

2022 年頭の月例研究会では、当研究会特別会員の有馬孝禮氏を講師にお招きすることといたしました。木材、木質材料、木質構造を専門とされ、「都市の森林」の概念を提唱された有馬先生より、木材の持続的利用の重要性についてご講演いただき、地球環境保全において木材利用が果たす役割について、参加者の皆様とともに議論を深めたいと考えております。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。



### ～ 記 ～

- 日 時： 2022 年 1 月 19 日（水） 17:30 ～ 19:00（受付開始 17:00）
- 会 場： ZOOM を利用した Web 会議形式  
※お申込みを頂いた方に、後ほど、ZOOM に関する情報をお知らせします。
- 主 催： 木材利用システム研究会
- 参 加 費： 会員は無料、非会員は 3,000 円
- 申込期限： 2022 年 1 月 17 日（月）
- 申込方法： 当研究会ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込み下さい。



お申込み お問合せ先：  
木材利用システム研究会 事務局（担当：長坂、幡、知念）  
（東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室内）  
<https://www.woodforum.jp/>  
メール：info@woodforum.jp 電 話：03-5841-7506